

飯高駅
ウォーキングコース

珍布峠
めずらしとうげ

伊勢と大和、和歌山を結んだかつての「和歌山街道」。この街道沿いには宿場町の面影をとどめる町並みや石碑、道標などを見ることができます。珍布峠ウォーキングコースは、その史跡を巡る自然豊かな散策コースで、2015年9月に新日本歩く道紀行100選「歴史の道」に認定されました。



珍布峠

● ロングコース 所要時間: 2時間 距離: 7.5km

● ショートコース 所要時間: 1時間10分 距離: 4.5km

飯高駅 → 珍布峠 → 礫石 → 姿見の池 → 常夜灯 → 飯高駅



礫石の碑



水屋神社のお水とり

大和の春日大社の行在所として祀られた由緒ある神社です。お水とりの由来は、神社西方700mにある「閼伽桶(あかおけ)の井」から、清和天皇貞観元年(859)11月9日より春日大社への奉納を始め、正月暦を創ったといわれています。現在では、諸願成就、商売繁盛等の霊水として、毎年7月31日の祇園宵宮に、二振りの赤桶を乗せた水御輿が閼伽桶の井より本社へ渡御されています。



姿見の池



北畠具教首塚



北畠具教首塚



道の駅 飯高駅



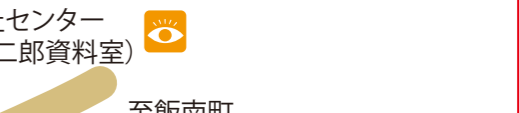
小津安二郎資料室 (木、土、日、祝祭日)



木戸の一軒家



死人谷



老人福祉センター (小津安二郎資料室)

①~③⑦ コース案内板
 ④ 観光看板
 ⑤ 三重交通バス停

⑥ 長栄堂 製菓本舗 P33
 ⑦ 野呂車両 P34

⑧ 宮前局
 ⑨ 宮前食堂 P32
 ⑩ 飯高地域振興局

⑪ 交番
 ⑫ 宮前局
 ⑬ 宮前局

⑭ 野々口
 ⑮ 野々口
 ⑯ 野々口

⑰ 野々口
 ⑱ 野々口
 ⑲ 野々口

⑳ 野々口
 ㉑ 野々口
 ㉒ 野々口

㉓ 野々口
 ㉔ 野々口
 ㉕ 野々口

㉖ 野々口
 ㉗ 野々口
 ㉘ 野々口

㉙ 野々口
 ㉚ 野々口
 ㉛ 野々口

伊勢と大和の国分け伝説

むかし、むかし、珍布峠で出会った伊勢の天照大神と春日の天児屋根命が、国境を決めるために川に石を投げ入れました。大石を礫のように投げると、滝のように川水が流れ、そこを滝野、波の変化した様子からそれぞれ加波、波瀨、舟戸、波が止まったところを波留と名付けました。波は高見山まで達しました。この日より高見山を伊勢と大和の国境とされました。